

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津川工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月2日(月) 10:45～12:45
- 3 開催場所 中津川工業高等学校 仰星会館研修室
開催にあたり、委員による建築工学科・土木工学科の課題研究発表会の参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	早川 智晴	本校 同窓会長
副 会 長	堀川 明子	本校 育友会副会長 (欠席)
委 員	新田 正己	坂本地区民生委員長
	小池 菜摘	中津川市議会議員
	尾関里恵子	株式会社デンソーテン 中津川製作所
	柘植富士男	株式会社NSP S S
	世古晋一朗	三菱電機株式会社 中津川製作所 (欠席)
学 校 側	田並 正	校長
	田口 稔	教頭
	西尾ゆかり	事務長
	後藤 昭博	教務主任
	水谷健太郎	生徒指導主事
	山田 豪	進路指導主事
	佐々木邦生	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本年度の取組みについて

- ①教務部
- ②生徒支援部
- ③進路支援部
- ④工業部

(2) 年度末評価・次年度に向けての改善方策について

意見1：課題研究発表会では、生徒に限られた時間の中で努力し、失敗を通して多くを学んでいる点が評価できる。あわせて、成功体験を得られる機会を意図的に設けることで、より達成感や自信につながるのよい。

意見2：入学志願者の減少が続く中、リニア開通後の企業誘致による地域産業の発展を踏まえ、本校の卒業生の役割はより重要になる。本校の魅力を積極的に発信する必要があり、中学生への出前講座の充実、公立校としての設備改善、特色の明確化など、多様な取組を進めるべきである。

意見3：私立高校が寮の整備やスポーツ特化によって生徒を確保している状況を踏まえ、本校も魅力発信を一層強化する必要がある。

意見4：地元就職者の減少には人口減少が影響しているが、地域の産業を支える技術者を育成するためにも、まず地元の高校に進学してもらえらる仕組みづくりが重要である。

意見5：生徒の自主性が重視される一方で協調性が弱まっている。さらに、欠席が増加している状況から、社会人として必要となる責任感や体調管理の意識を育む指導を強めてほしい。

意見6：地域連携・社会貢献活動として長年継続しているテクノボランティアは、地域から高く評価されている。今後も継続して実施してほしい。

意見7：技術の価値を伝えるキャリア教育として、『ブルーカラーミリオネア』に象徴されるように技能をもつ技術者が高収入を得る事例が増えている。技能・技術の価値や将来性を生徒により積極的に伝えてほしい。

6 会議のまとめ

第三回学校運営協議会では、本校の自己評価と学校関係者評価が概ね承認された。公立の専門高校として地域産業を支える人材育成の重要性が指摘され、入学者の確保と定着、魅力発信の強化、多様な取組の推進が求められた。これらの意見により、本校の現状と課題を改めて認識するとともに、今後の方向付けが得られた。本校は技術力向上と地域産業への貢献を柱に、魅力向上に向けた取組をさらに充実させていく。